

**御嵩建築****雨楽な家**
URAC MODERN**木の郷ぎふの家 御嵩建築
の住まい創り新聞****Vol.39****今回のテーマ
現場レポート
冬の乾燥・結露対策****雨楽な家 笑家族SK-28
リビング****現場レポート**

- ◎可児市 I様邸 新築工事
火山灰の塗り壁、そとん壁です。断熱性が高い塗り壁です。
完成です！きれいに仕上がりました。内部は乞うご期待！
- ◎可児市 D様邸 新築工事
太陽光パネルが付きました。売電が楽しみです。
- ◎多治見市 SY様邸 新築工事
ここは22条地域の為、外壁を防火構造としなければなりません。
外壁のガルバリウム鋼板貼りが始まります。
- ◎多治見市 SM様邸 新築工事
基礎工事が始まりました。しっかり行きましょう！
配筋検査、合格です。平屋は大きいですね。やりがいが出ます。
上棟式 しあわせをかたちにする仕事をしています。
これが私に与えられた使命です。
- ◎土岐市 H様邸 新築工事
地盤調査をしました。
滞り無く、地鎮祭が執り行われました。
工事の安全とご家族の繁栄を祈願します。
丁張りが掛けられました。まもなく、基礎工事に入ります。
- ◎多治見市 K様邸 3ヶ月点検
特に異常はありません。きれいに上手に住まれています。
今後共宜しくをお願いします。
- ◎御嵩町 K様邸
太陽光パネルが伏せられました。まもなく、売電開始！
- ◎各務原市 O様邸
地鎮祭 ご家族のために出来る事・・
「頑張ります！」

**【当社ホームページより抜粋。詳しくは [ぎふの家](#) 検索！】**

冬の乾燥・結露対策

冬は大気中の水分量が最も少なくなる時期。そのうえ、エアコンですます空気乾燥します。冬を快適に過ごすために、お部屋に適度な潤いを取り入れましょう。

湿度の目安は40～60%

朝起きたとき、一瞬「風邪かな？」と思うようなノドの痛み...乾燥しがちな冬場は誰もが経験するのではないのでしょうか。人が快適かつ健康でいられる湿度は40～60%の間といわれています。乾燥が進むと、風邪を引きやすくなったり、お肌のカサツキの原因にも。加湿器を買わなくても毎日のちょっとした心がけで、お部屋の乾燥を防ぐことはできます。

空気の乾燥で冬のウィルスが活性化

低温と乾燥は冬のウィルスが活性化する好条件。

空気の乾燥によりウィルスの水分が蒸発して、空気中にウィルスが浮遊し、さらに、ノドや鼻の粘膜が保湿性を失ってウィルスを防御する力が弱くなります。また、睡眠中は口呼吸になりがちなので喉の粘膜にウィルスが附着しやすく、そのために朝ノドが痛い...ということにもなりやすいのです。

うがいをする、マスクをつけるなどの対策も必要ですが、まずはお部屋の中をウィルスが活性化しないような適度な温度と湿度に保つことが大切。

乾燥によっておきる静電気も、肌荒れやアレルギーの原因となったり、ダニの死骸やホコリを吸い付ける性質があるので注意しましょう。

加湿器に頼らない乾燥対策

部屋の加湿というと、加湿器に頼りがちですが、ちょっとした工夫で部屋の湿度を上げることができます。

意外なところでは、観葉植物。根から水を吸い上げ、葉から出す「蒸散作用」を行うことで、自然の力で加湿をしてくれるのです。特にモンステラなど葉っぱが大きい植物は、その分、効果も高いといわれています。

その他、濡らしたタオルを部屋に干す、洗濯物を部屋干しする、眠るときに水の入ったコップを脇に置く、お風呂のお湯はすぐに捨てず浴室のドアを開け湯気を部屋に移動させる、などの心がけが部屋の乾燥を防ぎます。

エアコンは乾燥を進めますから、使いすぎに注意し、こまめに換気も行いましょう。



加湿しすぎると結露の原因に

冬になると窓ガラスに発生する結露。

暖かく湿った空気が冷たいものに触れることで水滴となる現象です。湿気が多くて空気が滞留しやすい、温度差が大きいといった状況で発生します。結露はカビを繁殖させたり、家屋を傷めたりするので、冬は「加湿しすぎ」にも注意しなければなりません。

家の中で結露が発生しやすいのは、水蒸気が多いキッチンとお風呂場、そして押入れの中や家具の裏側、カーテンを閉めた窓の内側など空気の流れが悪く冷えやすい場所。これらの結露を防ぐには、部屋の温度差を作らず、余分な水分を発生させないことがポイントです。暖房を使っているときは定期的に自然換気を行う、家具の間に隙間をあけて空気の流れをよくする、使っていない部屋のカーテンは時々あけるなど心がけましょう。押入れやクローゼットの中も詰め込み過ぎないようにしたり、スノコをひいたりして空気が循環するようにしましょう。また、窓を開けて換気することで、外と室内の温度と湿度の差が少なくなり、乾燥と結露の予防につながります。寒いのを少し我慢して空気の入れ替えをすることも大切です。

乾燥や結露は、部屋同士がふすまや障子で仕切られた、通気性が高く気密性の低い昔の住居と比べ、壁やドアで仕切られた高气密な現在の住居にとって、重要な問題となっています。温度や湿度をこまめに調整し、健康的で過ごしやすい住まい作りを意識することが大切です。

Topics

先日開催しました、「完成見学会」にはご来場をいただきまして誠にありがとうございます。これからも木の家の良さと質の良い住まいを広めていきます。